

# キヤノンマーケティングジャパングループ (2022年12月31日現在)

## キヤノングループにおける位置付け

### キヤノンマーケティングジャパン株式会社

日本において、キヤノン製品・サービスの提供を担当するとともに、独自にITソリューションを提供しています。



セグメント	会社名
エンタープライズ	キヤノンITソリューションズ株式会社、スーパーストリーム株式会社、クオリサイトテクノロジーズ株式会社、Canon Software America, Inc.、Canon IT Solutions(Thailand) Co., Ltd.、Material Automation(Thailand) Co., Ltd.
エリア	キヤノンシステムアンドサポート株式会社、エーアンドエー株式会社
プロフェッショナル	<p>プロダクションプリンティング キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社</p> <p>ヘルスケア キヤノンITSメディカル株式会社</p>
BPOサービス	キヤノンビズアテンダ株式会社、キヤノンビジネスサポート株式会社、株式会社キュービーファイブ
サービス&サポート	キヤノカスタマーサポート株式会社

連結子会社は14社です。

## 第三者評価/受賞歴

キヤノンMJは、2004年より19年連続で「FTSE4Good Index Series」に、2017年より6年連続で「FTSE Blossom Japan Index」に選定されています。また、2012年より12年連続で「SOMPOサステナビリティ・インデックス」に、2018年より5年連続でMSCI社が開発したESG総合型指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に選定されるなど、数々の指数に組み入れられています。



### 日本IR協議会「“共感!” IR賞」を受賞

一般社団法人日本IR協議会が選定する「IR優良企業賞2022」において、「共感!”IR賞」を受賞しました。「共感!”IR賞」は、積極的なIR活動を共有し、ベストプラクティスの実現を目指すことを目的として2020年に新設され、「共感!”IR賞」にエントリーした207社による互選投票の結果、当社を含む上位20社が選定されました。



### 日本IT団体連盟「サイバーインデックス企業調査2022」で最高位の二つ星を獲得

一般社団法人日本IT団体連盟が、民間企業のサイバーセキュリティ対策の情報開示の促進を目的とし、日経500種平均構成銘柄の企業を対象にサイバーセキュリティへの取り組み姿勢および情報開示に関する調査を実施するものです。キヤノンMJは、「特に優れた取組姿勢および情報開示を継続的に確認できた企業」11社のうちの1社として、2022年度より新設された最高位の「二つ星」を獲得しました。

### 「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023」セキュリティ対策製品部門で10年連続1位を獲得

「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023」セキュリティ対策製品部門で1位となりました。長年にわたり蓄積してきたノウハウと高度なセキュリティ人材を強みに、お客さまのニーズに合わせた製品・サービスの提供と、きめ細かな保守・運用支援を続けることで10年連続1位の評価をいただきました。



### キヤノンITSの特許「EDIにおけるジョブ実行管理技術」が令和4年度関東地方発明表彰において「発明奨励賞」を受賞

キヤノンITソリューションズは、公益社団法人発明協会が主催する「令和4年度関東地方発明表彰」において、EDIソリューション開発本部の「EDIにおけるジョブ実行管理技術」で「発明奨励賞」を受賞しました。

# 企業情報 (2022年12月31日現在)

<b>商号</b>	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	<b>事業内容</b>	キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング
<b>設立</b>	1968年2月1日	<b>従業員数</b>	連結15,973名 単独4,653名
<b>資本金</b>	73,303百万円	<b>主な事業所</b>	本社、港南事業所、幕張事業所 支店(札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡)
<b>本社</b>	〒108-8011 東京都港区港南2-16-6	<b>上場証券取引所</b>	東京証券取引所プライム市場 証券コード：8060

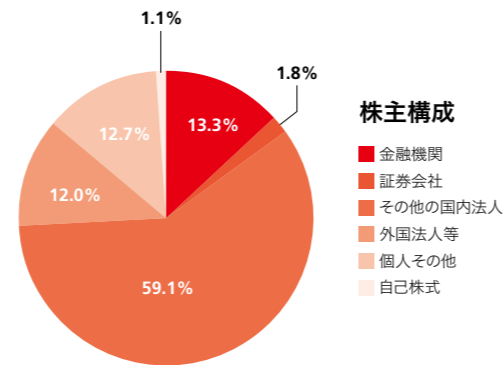


## 大株主

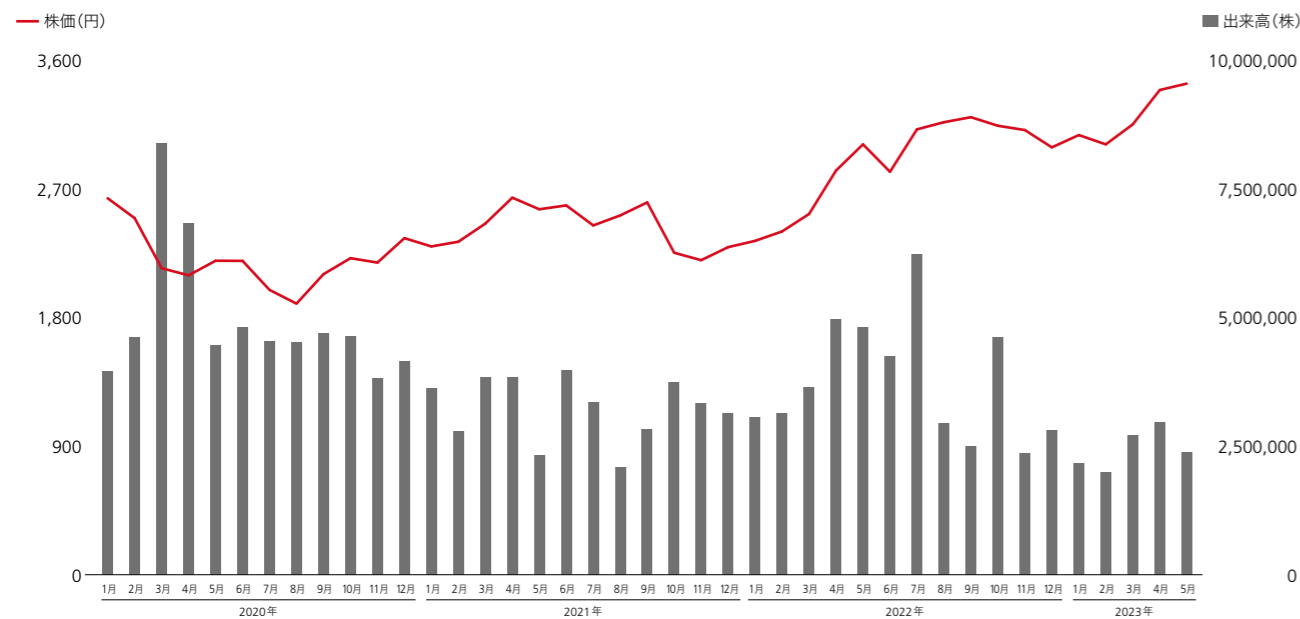
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
キヤノン株式会社	75,708	58.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,809	6.8
キヤノンマーケティングジャパングループ 社員持株会	5,577	4.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,688	2.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	1,478	1.1
キヤノンマーケティングジャパン 取引先持株会	1,265	1.0
ザ バンク オブ ニューヨーク トリーデュー ジヤステック アカウント	1,239	1.0
SMBC日興証券株式会社	1,082	0.8
株式会社みずほ銀行	1,001	0.8
第一生命保険株式会社	879	0.7

## 株式の状況

発行可能株式総数	299,500,000 株
発行済株式総数	131,079,972 株
株主数	11,166名



## 株価・出来高



## キヤノンMJ Webサイトのご案内

キヤノンMJは、株主の皆さまとのコミュニケーションをより一層深めていくために、業績などの財務情報や経営計画、ESGなどのサステナビリティ関連情報をWebサイトに掲載しています。主な掲載項目は以下の通りです。

● 投資家向け情報サイト  
[canon.jp/8060-ir](http://canon.jp/8060-ir)



- IRニュース
- 業績などの財務データ
- 長期経営構想および中期経営計画
- 株式情報
- 個人投資家向け情報
- 統合報告書

● サステナビリティサイト  
[canon.jp/corporate/csr](http://canon.jp/corporate/csr)



- 環境・社会・ガバナンスの取り組み
- サステナビリティ経営の考え方と体制
- 価値創造プロセス
- キヤノンMJグループのマテリアリティ



統合報告書2022 編集メンバー

## 統合報告書2022 編集後記

統合報告書2022をお読みいただき、ありがとうございます。  
前回の統合報告書についてステークホルダーの皆さまからいただきましたさまざまなご意見・ご感想を踏まえ、当社の事業や成長ストーリーについて、よりご理解いただけるよう内容の充実を図りました。

当社グループとして、4回目の発行となる本報告書では、「変革を遂げる実力とスピード」をテーマに制作しました。キヤノンMJグループがどのように経営基盤や強固な財務体質を構築してきたのか、また長期経営構想の実現に向けてどのようにITソリューション事業の成長スピードを上げてきたのかについてご理解いただけるよう努めました。当社グループの持続的成長に向け、成長のスピードを加速させていくために、ITソリューション事業においてサービス型事業モデルへの変革を目指していること、そのために人材の高度化と成長投資に注力していること、また挑戦する風土づくりを積極的に進めていくことを本書の中でお伝えできていれば幸いです。

本報告書がステークホルダーの皆さまにとって、当社グループへの理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。私たちは、これからもステークホルダーの皆さまとの対話の機会を大切にしていきたいと考えていますので、ぜひ忌憚のないご意見やご感想を賜りますようお願いいたします。

執行役員 企画本部長  
常信 卓也